



## 教育の村ふたたび

教育長 津野庄一郎

朝、「こーこー」と鳴きながら飛んでいく白鳥を目にしたとき、思わず「頑張れよ」と声を掛けてしまいます。白い雪が解けて、春を感じる時節となりました。ふるさと関川に戻り、あっという間に1年が終わろうとしています。この間、関川小学校の須貝学校長先生・関川中学校の櫻井雅之校長先生をはじめとする教職員、保護者の皆さん、教育関係各位など多くの方々から、お支えいただいたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

思い起こせば、春、関川小学校の運動会、6年生のリーダーシップのもと、一人一人が競技に応援に全力を出し切って頑張る姿、夏、米沢から下関までのおよそ100キロの峠道を元気いっぱい歩く姿、わら作りの大蛇を大人と一緒に汗だくになって練り歩いた「大したもん蛇まつり」、秋、コミュニティ選抜の17チームが、8区間ひた走り、襷をつないだ村民駅伝大会、冬、村民会館大ホールの凜とした空気の中で書き上げた書初めなど、この1年間、様々なことに挑戦してきました。また、学校生活での勉強はもちろん、部活動や関川村スポーツ少年団、各種コンクール等の文化活動でも素晴らしい成果を収めました。それでもすべてが最初から上手くいったわけではありません。時には仲間とぶつかったり、自分の思うようにいかずに悩んだりしたこともあったと思います。しかし、どれも自分を成長させるためには、欠かせない経験だったのではないのでしょうか。これからも希望を失わずに、たゆまぬ努力を続けていきましょう。たとえ時間がかかったとしても必ず道は開けます。

少子高齢化や情報化、教職員の働き改革や部活動の地域展開など、教育を取り巻く環境は、大きく変わろうとしています。そんな今だからこそ「教育の力で村を盛り立てる」という理念のもと、変わらないもの、変えるべきものをしっかりと見定め、小中学校の連携を強化し、地域の皆さんと共にコミュニティ・スクールとしての活動を着実に推進してまいります。今後ともお力添えをよろしくお願い申し上げます。